文章表現力の育成+評価を支援する新しいAIツール『 つむぎAI（あい） 』

機能のご紹介／モニターご協力のお願い



（公財）日本漢字能力検定協会

＜先生方、職員の皆さまからお伺いしていること＞

【お悩み１】複数の生徒に同様の指導を何度も。。。**文章指導の負担が大きい。**

【お悩み２】AIを活用した授業をしてみたいけど、**AIがどんな回答をしているか不安。**

【お悩み３】書くポイントや観点が生徒に伝わらず、**レポートの内容がなかなか深まらない。**

【お悩み４】文章指導を行っているが、**生徒が理解して書き直しているか確認できない。**

【お悩み５】フィードバックを早く返してあげたいけど、**添削に時間がかかってしまう。**

【お悩み６】教員同士の評価軸の統一、生徒同士の記述の質の比較など、**評価を合わせるのが難しい。**

文章表現力の育成＋評価を支援するツールがあったら。。。

背景にある問題意識

ドリル型の演習を重ねるだけでは
「生きたことばの知識」を育むことは困難では？
例)漢字の小テストでは書けるが、文章のなかで使えない

「ことばの力」の育成と評価の在り方をリ・デザインしたい！

解決したい課題

「正解できる力」から「自分の考えを表現できる力」へ

探究活動や創造性の発揮を支える学習基盤として、単なる「読み書き能力」に留まらず、自分の考えや新たに得た知識を編集・統合してより幅広い文脈へ適用する**深い概念理解を伴うリテラシーの育成**が一層求めれています。深い理解を伴う言語知識は、実際に活用する場面を通じて習得できることから、言語能力の育成・評価は**「ことばの運用場面＝自分の考えをことばで伝える場」で行われる必要**があります。



丸暗記・一夜漬けなど
テストで正答するための学習

**学びの場を
リ・デザイン**



自分なりの考えを
ことばで表現する場面で学ぶ

開発目的

AIツールを活用して、ことばの学びを リ・デザイン

「正しく読み書きできる」を超えて、「仲間と共に知識を創造するための学習基盤」を育む
未来のリテラシー教育の実現に向けて、運用できる「ことばの力」の育成・評価の実現を目指して
「つむぎAI」を開発しました。



基本的な読み書きができる

ことばの学びを
リ・デザイン



答えのない創造的な課題で仲間と共に
自分なりの考えをことばで創り上げる力

つむぎAI（あい）
AI推敲支援

次ページ以降、特徴と基本的な使い方を紹介します。

つむぎAIの特徴

『つむぎAI』は、「文章表現力」を育成したい先生を支える AI ティーチング・アシスタントです。

POINT 1

答えを教えないAI

授業のねらいに合わせて
AIが生徒の学びをサポート

先生が事前に準備したプロンプトを用いて、生徒が学習する環境を提供します。



POINT 2

教員間で共有できる環境

プロンプト・学習ログは、
学校内で共有できる環境

プロンプトやルーブリックの設定は一人では悩んでしまうものです。ノウハウや評価基準などは、管理ページで先生同士で共有が可能。
※漢検職員によるサポートも可

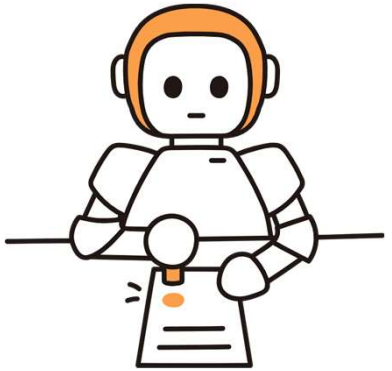


POINT 3

評価・学びのみとりも支援

ルーブリックを登録したら
AIによる評価支援も可能

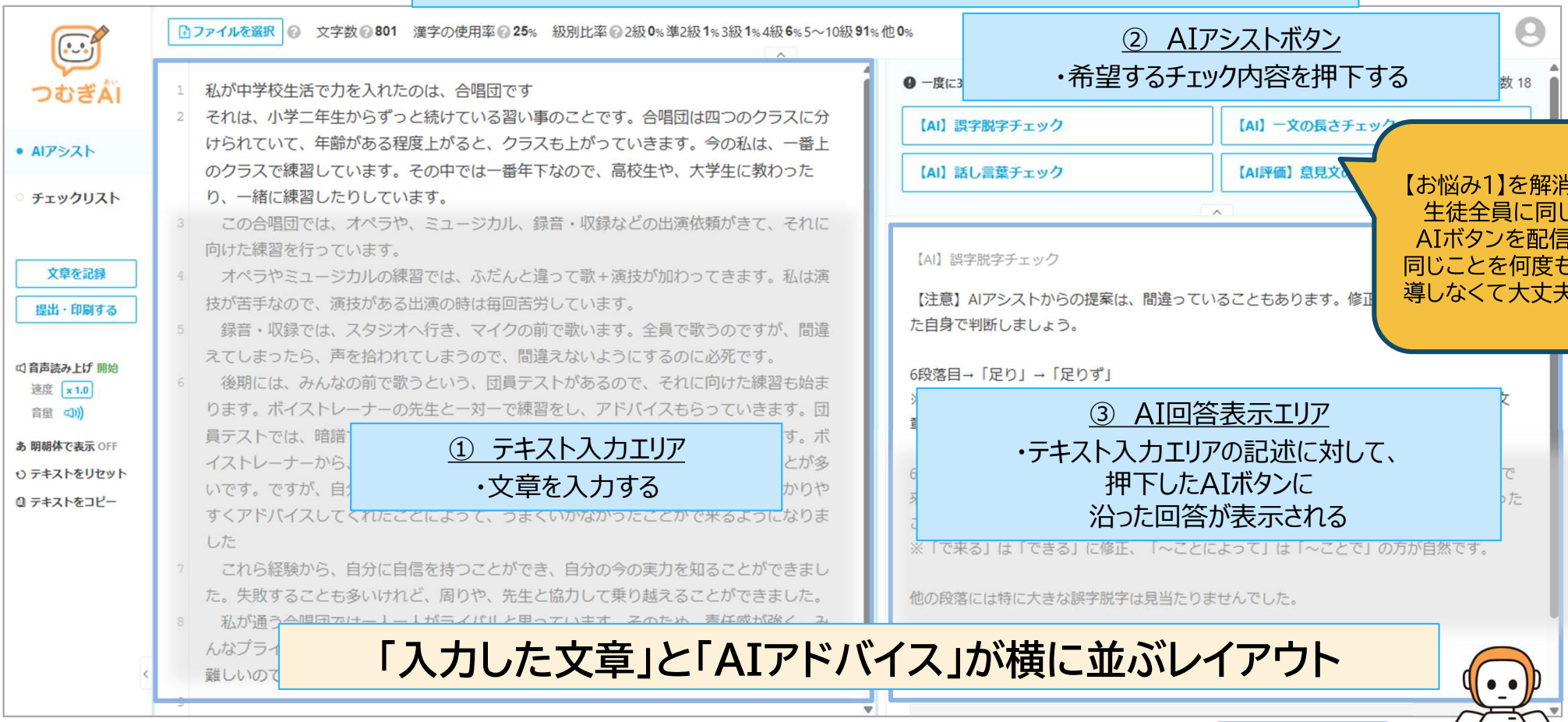
授業のねらいに合わせてルーブリックを設計。AIがルーブリックに基づく評価をアシスト。学習ログから生徒の学びの変化をみとることも可能。



【基本的な使い方】「AIアシスト」とのやり取りで、文章推敲をサポート

プロンプトが登録された複数の「AIアシスト」を活用することで、
生徒一人では気が付けなかった多様な視点で、文章を見直す活動（推敲）が可能になります。

▼漢字使用率　テキスト入力の漢字使用率（漢検級別比率）をリアルタイムで表示



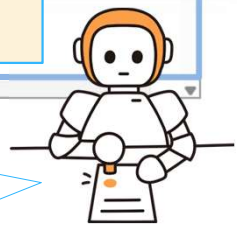
② AIアシストボタン
・希望するチェック内容を押下する

【お悩み1】を解消！
生徒全員に同じ
AIボタンを配信。
同じことを何度も指
導しなくて大丈夫！

① テキスト入力エリア
・文章を入力する

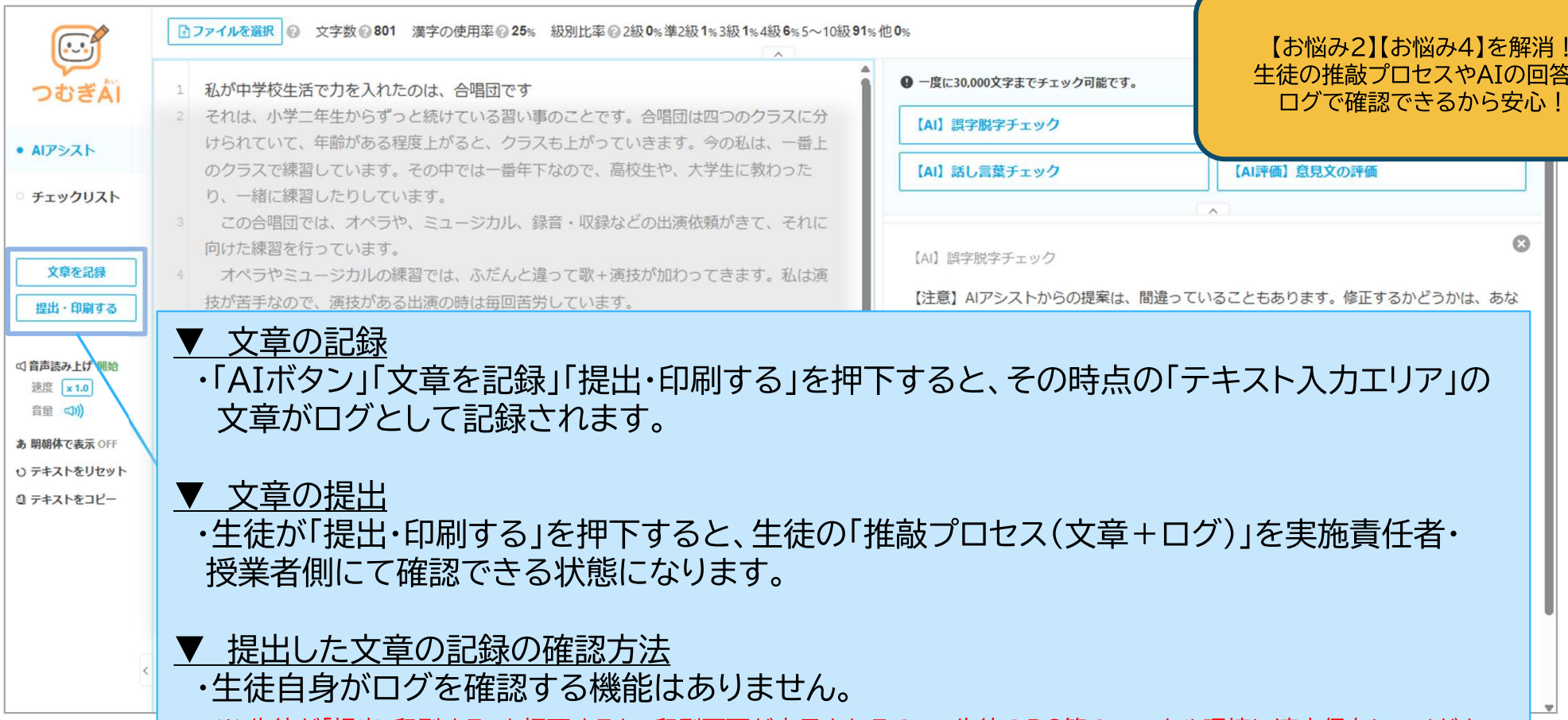
③ AI回答表示エリア
・テキスト入力エリアの記述に対して、
押下したAIボタンに
沿った回答が表示される

「入力した文章」と「AIアドバイス」が横に並ぶレイアウト



【基本的な使い方】文章の記録と提出

「AIアシスト」を活用した推敲のあと、納得できる文章になったら、先生に提出します。
完成した文章・チェックリスト・推敲プロセスが画面出力されるので、学びの履歴を確認可能



【お悩み2】【お悩み4】を解消！
生徒の推敲プロセスやAIの回答はログで確認できるから安心！

▼ 文章の記録

・「AIボタン」「文章を記録」「提出・印刷する」を押下すると、その時点の「テキスト入力エリア」の文章がログとして記録されます。

▼ 文章の提出

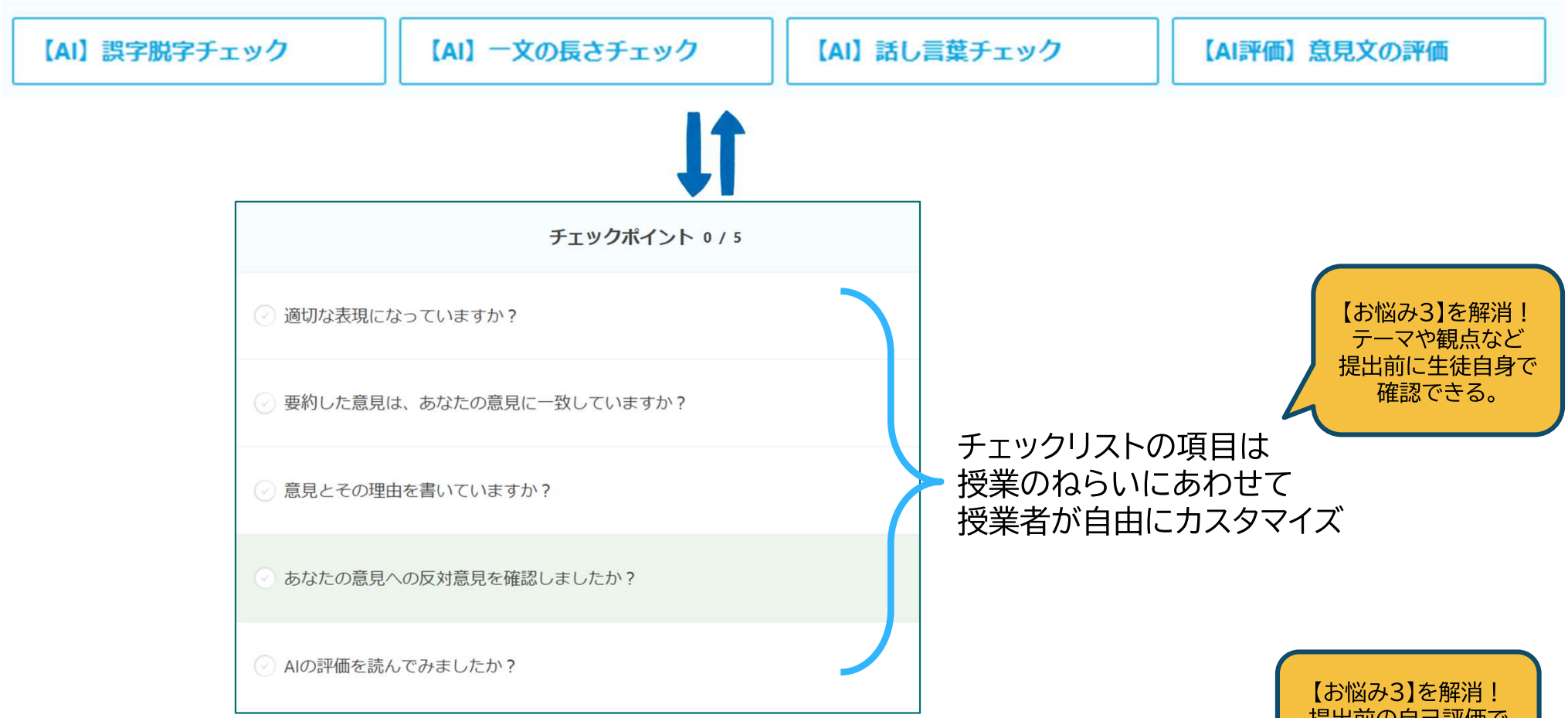
・生徒が「提出・印刷する」を押下すると、生徒の「推敲プロセス（文章＋ログ）」を実施責任者・授業者側にて確認できる状態になります。

▼ 提出した文章の記録の確認方法

・生徒自身がログを確認する機能はありません。
※ 生徒が「提出・印刷する」を押下すると、印刷画面が表示されるので、生徒のPC等のローカル環境に適宜保存してください。
・実施責任者・授業者側は、生徒の「推敲プロセス（文章＋ログ）」をいつでも確認できます。

【基本的な使い方】チェックリスト(ルーブリック)で提出前に自己評価

「AIアシスト」を活用して推敲したら、
授業者が登録しておいたチェックリストで、生徒自身による文章評価を行うことができます。



※実施責任者＋ 授業者のみ。
生徒は登録できません。

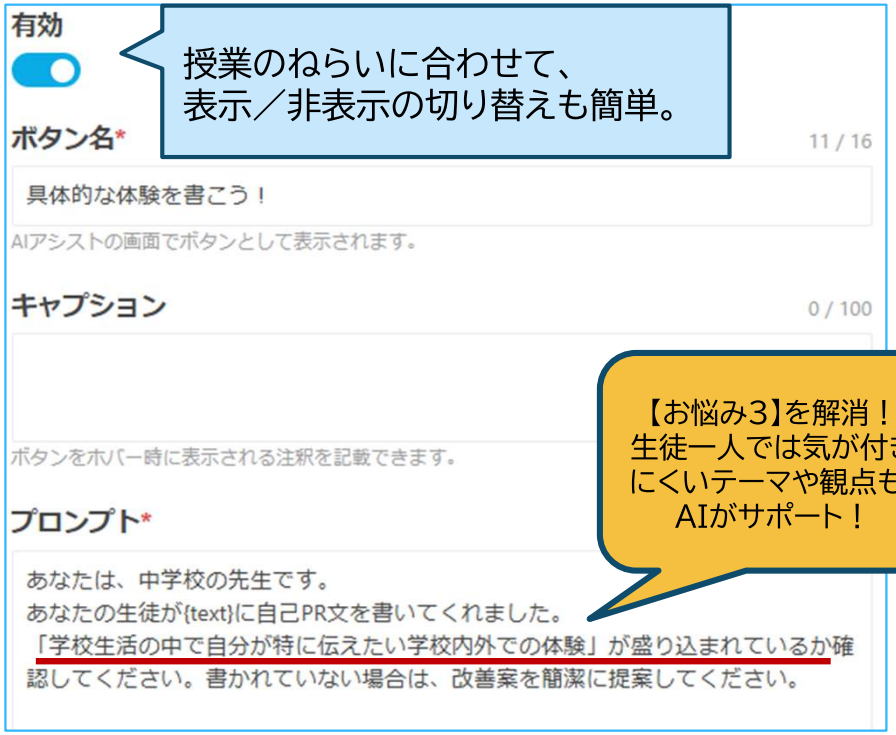
【授業の準備】AIアシストボタンのカスタマイズ

授業デザインに合わせて、AIのプロンプトを登録します。
授業者同士はプロンプトを共有できる環境です。

【お悩み6】を解消！
先生同士で、授業や評価の観点も
共有できる。

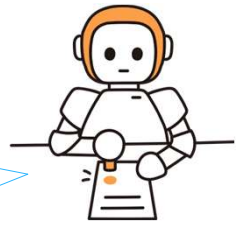


	カスタマイズ可能
教材	授業者の教科や書きたい文章
ねらい	授業者が設定したねらい
AIボタン	授業者のねらいに合わせてデザイン可能
流れ	授業者がデザインした授業案
評価	授業者が見とりたい学びでルーブリック＋AIボタン



【お悩み3】を解消！
生徒一人では気が付き
にくいテーマや観点も、
AIがサポート！

授業のねらい（例：「自己PR文に具体的な体験を盛り込む）に合わせたプロンプト設計が可能



【授業後の評価支援】生徒の文章と推敲プロセスの出力

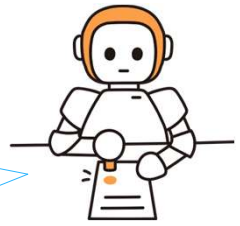
※実施責任者＋ 授業者のみ。
生徒は登録できません。

期間・IDを選択して、生徒一人一人の推敲プロセス（AIの回答・生徒の記述の変化）を記録したログも確認可能



※エクセルの出力には差分の色がつきません。

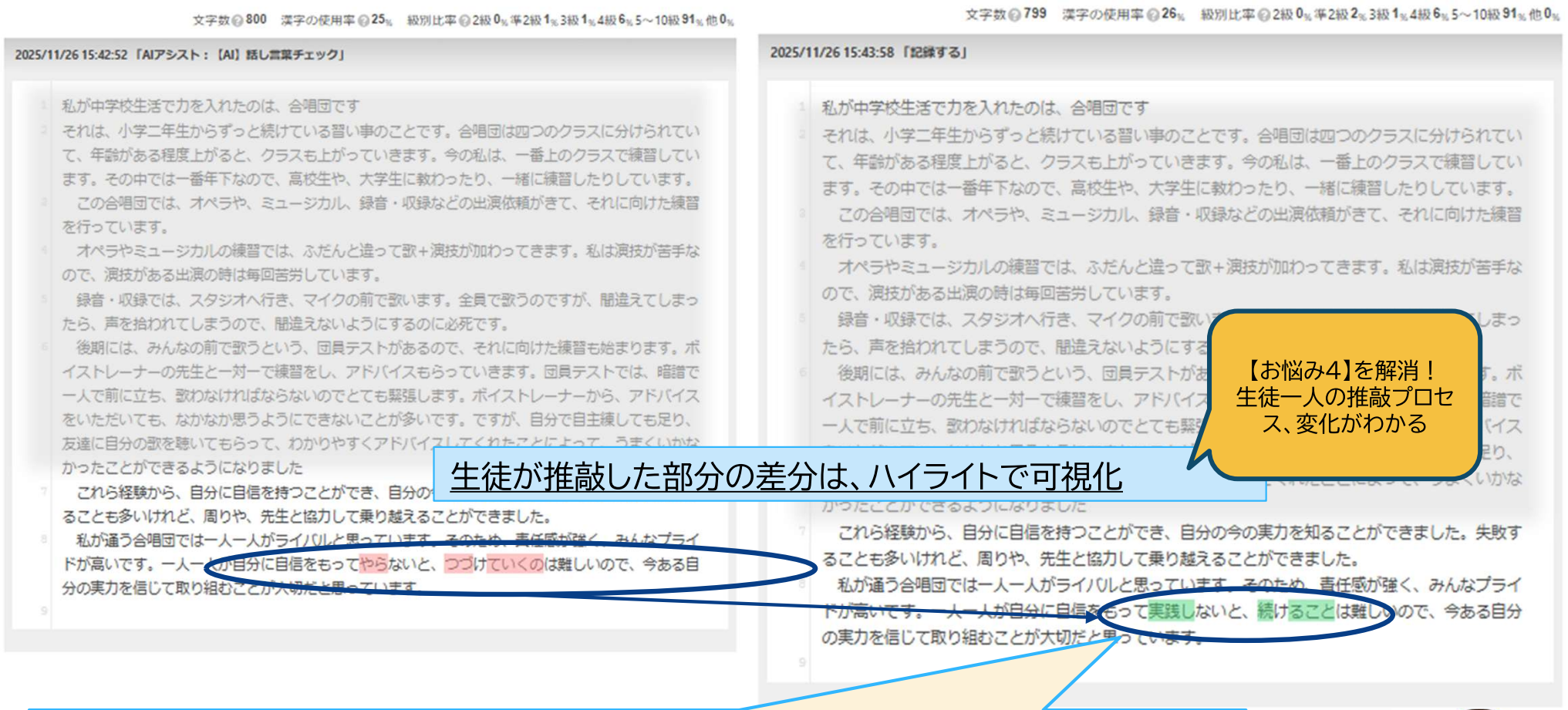
推敲プロセスを記録しているので、
どんな変化が起きたか（学びがあったか）を捉える
学びの見とりを支援



【授業後の評価支援】生徒の文章と推敲プロセスの評価支援

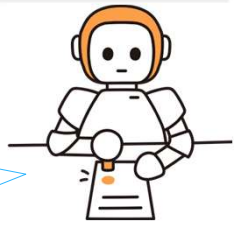
※実施責任者＋ 授業者のみ。
生徒は登録できません。

完成した文章・チェックリスト・推敲プロセスを出力・保存できるので、
フィードバックシートや学びの見とりとして活用も可能



授業後の評価では、「AIアシスト」を活用して評価の下準備も可能

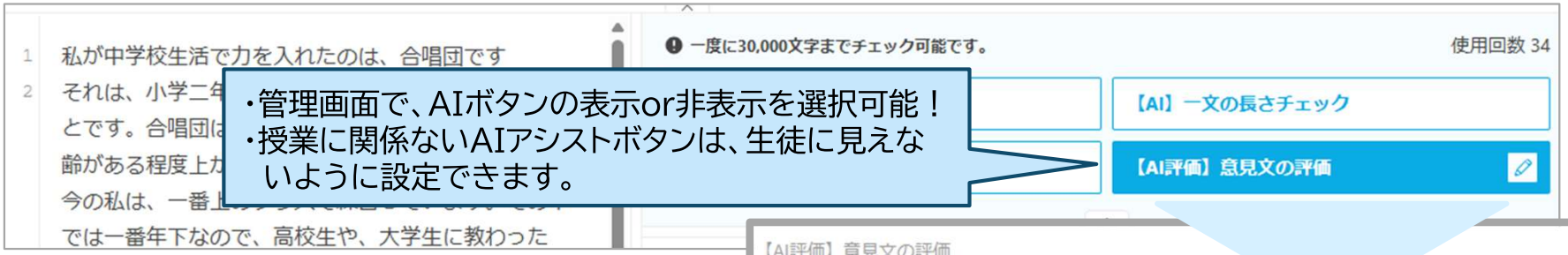
※生成AIの特性上、評価は安定しません。内容は必ず授業者がご確認ください。



【授業後の評価支援】AIアシストボタンで、生徒の文章評価を支援

※実施責任者＋ 授業者のみ。生徒は登録できません。

テキストを評価するプロンプトをボタンに設定することで、文章評価をAIが支援。
プロンプトを共有できるから、他の教員との評価の観点合わせにも役立ちます。



・管理画面で、AIボタンの表示or非表示を選択可能！
・授業に関係ないAIアシストボタンは、生徒に見えないように設定できます。

【AI評価】意見文の評価

【採点】

主張：4点
（「私が中学校生活で力を入れたのは、合唱団です」という主張は明確で一貫しており、文章全体を通じて維持されています。ただし、最後に「自分の実力を信じて取り組むことが大切だと思う」など、個人的な考えの掘り下げがもう少しあると、さらに明確になります。）

根拠：4点
（自分の活動経験や、感じたこと、合唱団での出来事など、具体的なエピソードが複数書かれています。内容に具体性や客観性があり説得力も感じますが、もう少し体験に基づいた心情変化や学びの描写が増えると、より強い根拠になります。）

論理構成：3点
2～8段落で具体例や経験、まとめ、
す。ただ、
人がライバ
な誤りや

【お悩み5】を解消！
負担の大きい評価・添削もAIがサポート

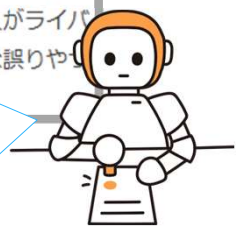


生徒の文章を評価する時間が取れない。。。
先生同士で評価軸をあわせるのが大変。。。

AIによる観点も含めてPDF保存すれば、生徒へのフィードバックシートとして利用可能

※生成AIの回答・評価は一定ではありません。 評価の際の補助ツールとしてお使いください。

プロンプトに、評価軸（ルーブリック等）を登録したら、同じ観点でAIがコメントして、評価の下準備をお手伝いします



▼ モニター募集

・「つむぎAI」を授業や校務でご活用いただける学校・団体様を募集しています。

▼ ご協力いただきたい内容

・「つむぎAI」は、生徒が自分の考えを表現する「**文章表現力の向上**」を支援することを目指して開発いたしました。

・「つむぎAI」を授業や校務でご活用いただき、操作性や有用性に関するご意見・ご感想をフィードバックいただけますようお願いいたします。

・「つむぎAI」のログ・プロンプト・授業実践は、調査研究の目的で個人を特定しないデータとして分析し、学会や協会広報、今後の開発に使用することがあります。調査・研究開発へのご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

つむぎAI

▼ 無償での利用可能期間

・ 申込手続き完了日 ～ 2027/ 03/ 31（2026年度内）

▼ ご利用申請方法

下記の利用申請フォームにてお申込みください。 追って、担当者よりご連絡させていただきます。

https://ssl.kanken.or.jp/n/form/avy/F5rA5t3TbLfmKhWLpv8Gw

（申請にあたり、ご不明な点がある場合は以下問い合わせフォームをご利用ください）
https://ssl.kanken.or.jp/n/form/avy/R-BE9kuQLyAKbVW2PNvnT

利用申請フォーム

以上